学校番号	3036

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎演習Ⅱ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　物理基礎　（数研出版）						
副教材等	セミナー物理基礎＋物理　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

原理・法則をしっかりと理解し，現象を正確に捉え，イメージする訓練をしてください。また、地道にコツコツと学習してください。物理ができるようになる一番の近道です。物事の本質を探ろうとするプロセスを通して課題に対する前向きな態度・資質を身に付けてください。

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
・観察、実験結果の分析を通して科学的に探究する力を養う。
・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	自然の物理的な事物や現象に問題を見いだし観察・実験結果を元に，科学的・論理的に思考・判断し，そこから導き出した考えを的確・簡潔に表現している。	自然の物理的な事物や現象について関心をもち，意欲的にそれらを探究する態度を身につけようとしている。 また，学んだことを一般化し理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	力学・波動・熱・電磁気・エネルギー	問題演習	a:様々な現象を高校物理の切り口で解釈できる。 b:思考力を要する複雑な現象であっても高校物理の 知識・技能を用いて解釈し、自身の理解を表現できる。 c: 自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。。	定期考査	定期考査	振り返り 宿題
2学期	力学・波動・熱・電磁気・エネルギー	問題演習	a:様々な現象を高校物理の切り口で解釈できる。 b:思考力を要する複雑な現象であっても高校物理の 知識・技能を用いて解釈し、自身の理解を表現できる。 c: 自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。	定期考査	定期考査	振り返り 宿題
3学期	力学・波動・熱・電磁気・エネルギー	問題演習	a:様々な現象を高校物理の切り口で解釈できる。 b:思考力を要する複雑な現象であっても高校物理の 知識・技能を用いて解釈し、自身の理解を表現できる。 c: 自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。	配布プリント等の学習状況	配布プリント等の学習状況	振り返り 宿題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度